

## 学会企画チュートリアル・セミナー

### 心理学研究における縦断モデリングの展開

企画・司会 : 山口一大 (筑波大学)

企画・話題提供: 宇佐美 慧 (東京大学)

#### 企画趣旨:

心理学研究を中心とした縦断モデリングの展開や個人内関係を中心とした諸概念に関する基本的事項について、少数時点と多時点の場合を区別しながら解説する。少数時点の場合に（教育）心理学研究で利用される縦断モデルの代表例として交差遅延パネルモデル群があり、特に個人内関係の推測を目的としたランダム切片交差遅延パネルモデルは国内でも徐々に普及を見せている。一方、経験サンプリング等を通して得られる集中縦断データ（intensive longitudinal data: ILD）など、多時点に基づく研究の増加も近年顕著である。特に、階層線形モデルを拡張した動学的SEM(dynamic structural equation modeling: DSEM)に基づく分析アプローチは海外では既に広い普及を見せている。本チュートリアルでは、個人内関係や変量効果など縦断モデリングに関わる諸概念について導入したのち、交差遅延パネルモデルとDSEMの話題を基軸として、各方法についての概念的理解を深めることを目指していく。